（地震・防災課）

津波から全ての県民の生命を守るために～津波避難対策推進事業～

南海地震の発生が近づいている!

今後30年以内に発生する確率

50～60%（2009.1.1） ⇒ 60%程度（2011.1.1）

2001.1.1から比べて20%上昇

南海地震でやってくる大きな津波!

早くて3分、遅くとも30分以内に到達

想定される津波高さは6～8m ところによっては10mを超える

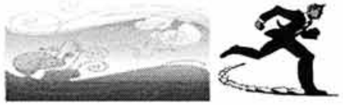
大津波により甚大な被害が発生!!

建物全壊 35,700棟（43.6%）

死者 約7,000人（72.6%）

（想定被害全体に占める割合）

だから…



大津波から大切な命を守るために…

津波避難対策が必要!

【現状】
○津波避難困難者は…
・浸水区域人口 ：約20万人
・うち要避難対策者数：約10万人
　⇒うち避難困難者：約37,000人
○津波から避難するための計画は…
・市町村の計画　約6割策定済
　⇒ 6市1町で未策定
・地域の計画　約1/4策定済
　⇒ 約800の地区が未策定
【課題】

自主防災組織や地域計画ができていない地域がある! 避難施設も足りない!

津波避難対策の加速化!

津波から全ての県民の命を守る!

「自助・共助」+「公助」により津波避難困難地域の解消を図る！

自助・共助
◇学習会や自主防災組織活動への参加
◇地域での避難計画づくり
◇地域での支えあいと避難訓練

公助

【H23新規】津波避難対策推進事業費補助金　100,000千円

○補助先：市町村
○補助率：2／3以内

ソフト・ハードを総合的に支援

「知る」対策
・避難計画の策定
（市町村計画・地域計画）

「避難する」対策
・津波避難施設や経路の整備
・夜間避難のための照明施設の整備　等

津波避難タワー

「伝える」対策
・住民への情報伝達施の整備

防災行政無線スピーカー

現在　H23　H24　H25　H26　H27

高知市の長期浸水被害対策

南海地震長期浸水対策事業委託料　13,965千円　【地震・防災課】

長期浸水による影響・被害

●高知市の長期浸水

地盤沈下と津波により高知市の市街地が長期間浸水

●県内全域への影響

・ライフラインや交通、生産基盤など様々な社会経済活動が長期停滞

・県民生活への支障や高知県の経済、社会機能に

【浸水想定エリア内の状況】

浸水面積　約2,800ha

①人口　約13万人

②事業所数　9,072（県全体の22%）

③卸・小売販売額　5,846億円（同37%）

など

様々な課題

・浸水の防止、排水対策

・避難者　・燃料問題

・漂流物被害　・衛生・環境

・廃棄物対策　・応急対応

現在、実施中の公共土木施設等の耐震化、津波避難対策等を加速化

・津波避難計画
・要援護者支援計画

堤防、護岸、水門、

避難方法、避難

南海地震長期浸水対策検討会

（H22～　）

【目的】

○ 南海地震による長期浸水被害の概要を明らかにする。

○ 事前の被害軽減対策や、発災後の迅速な復旧・復興に向けた対策を検討する。

○ 国、県、市や事業者、県民がそれぞれの役割を担い、連携して進める総合的な防災対策を提案する。

【H23検討項目】

<住民避難>
避難場所、避難手法

<救助・救出>
多数の救助者対策と

<止水・排水>
止水工法、排水施設等の対策

<燃料対策>
応急対応等に必要な燃料の供給

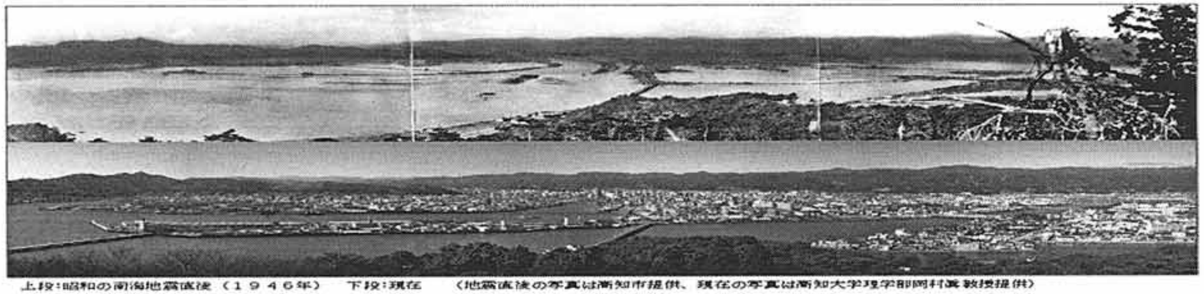
<中期的な達成目標>

・避難体制の整備

・救助体制の整備

・浸水の防止　・資機材の備蓄

県民生活や県経済を守る！



上段:昭和の南海地震直後（１９４６年）　下段:現在　（地震直後の写真は高知市提供、現在の写真は高知大学理学部岡村眞教授提供）